

## 1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

| 月間 | 旬別      | 上旬          |      | 中旬          |      | 下旬          |      | 月間           |       | 特記・コメント    |
|----|---------|-------------|------|-------------|------|-------------|------|--------------|-------|------------|
|    |         | 本年          | 平年   | 本年          | 平年   | 本年          | 平年   | 本年           | 平年    |            |
| 7月 | 平均気温（℃） | <b>23.9</b> | 23.3 | <b>24.9</b> | 24.2 | <b>26.9</b> | 25.2 | <b>25.2</b>  | 24.2  | 平年月間比+1.0℃ |
| 7月 | 降水量（mm） | <b>55.0</b> | 77.3 | <b>67.0</b> | 45.2 | <b>0.0</b>  | 46.5 | <b>122.0</b> | 168.9 | 平年月間比 72%  |
| 7月 | 日照量（h）  | <b>59.7</b> | 42.4 | <b>46.9</b> | 59.5 | <b>99.9</b> | 70.3 | <b>206.5</b> | 172.2 | 平年月間比 120% |

## 2023 7月気象ポイント

- ◆ 気温：最高気温 35.9℃（7/16） 最低気温 15.4℃（7/5） 7月猛暑日観測合計：2日
- ◆ 日照量：上旬平年比 141% 多、中旬平年比 79% やや少、下旬平年比 142% 多
- ◆ 降雨 10mm以上記録日：7/1（29.5mm）、7/8（11.0mm）、7/12（20.0mm）、7/13（29.0mm）、7/14（10.0mm）
- ◆ 降水量（平年比）：上旬 55.0mm（71%） やや少、中旬 67.0mm（148%） 多 \*病害感染注意、下旬 0.0mm（0%） 無
- ◆ 梅雨入り：6/8（平年比 1日遅い。昨年比 2日遅い。） 梅雨明け：7/22（平年比 3日遅い。昨年比 1日早い。）

## 2. 生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

凍霜害：4/10、4/25 低温遭遇（-3.2℃、-3.4℃）。アスパラガス被害あり。

管内平坦地中心に、リンゴ、モモ、プラム、ナシ、サクランボ等で、凍霜害の影響が散見される。

加温ハウス：サクランボ 12棟。初出荷：4/2。ピーク 5/15。最終：6/25。数量（昨対）90%  
：ハウスもも 1棟 初出荷（日川）：4/26 最終：5/22。数量（昨対）95%。  
：ぶどう棟数は昨年並み。初出荷は4月下旬頃。出荷進度は早める見込み。シャインピーク 8月初旬頃。

## ① 生育情報

満開：太陽 4/6、白鳳 4/11、佐藤錦 4/14、南水 4/13、ラフランス 4/13、ふじ 4/21 \*平年比△10日程度。

落花：太陽 4/16、白鳳 4/19、佐藤錦 4/24、南水 4/22、ラフランス 4/23、ふじ 4/29 \*平年比△7日程度。

## ② 生産基盤 2023（推定）

ぶどう 230ha・りんご 144ha・もも 86ha・プラム 35ha・和梨 10ha・桜桃 7ha・柿 6ha・西洋梨 5ha

## ③ ぶどう 2023

- ◆ 全体：シャイン・ルージュ自然増見込。巨峰・パープル面積減見込。ぶどう全体の生産量は昨対 110～115%を見込む。
- ◆ 開花：巨峰 6/7頃、シャイン 6/10頃 \*平年比+1～2
- ◆ 満開：巨峰 6/13頃、シャイン 6/17頃 \*平年+1～2
- ◆ 5～6月天候不順や低温等により生育停滞。開花は平年より遅れた。加えて開花のバラツキが過去になく大きかった。
- ◆ 露地シャインの粒肥大は良好。巨峰系の初期肥大良好、着色始期はバラツキが大きい。

## ④ 立木果樹特記

- ◆ 収穫開始：プラム（貴陽）7/28、あかつき 7/25。 \*R3年よりやや早い生育 猛暑によりモモ成熟遅延。
- ◆ りんご：肥大平年比 105%（7/15）。品種全般、中心果結実率が例年よりも劣り、斜形果・サビが散見。一部、黒星病散見。
- ◆ もも：肥大平年比 110%（7/15）。肥大良好 16玉>13玉>15玉>18玉。あかつき中心に縫合線裂果発生。せん孔病散見。
- ◆ ナシ：肥大平年比 95%（7/15）。
- ◆ プラム：果肉先行。幼果期の強風等により、スレ・サビ・キズなど散見。7/16高温により一部で日焼け発生。

## ⑤ 病虫害 2023 重点対策

- ◆ べと病・黒とう病：6月下旬感染あり（副梢葉等）。粒感染が確認されたが、大きな減収にはつながらない模様。
- ◆ 晩腐病：6月下旬～7月上旬に感染から成熟期発病心配される。
- ◆ ぶどうスカシバ：6月から断続発生。巨峰系のみならずシャインにも被害散見。袋掛け後（盛夏期）の専用剤散布必要。
- ◆ りんごハダニ類：7月上旬から、一部園地でナミハダニの発生が散見される。
- ◆ りんご黒星病：5月末頃から葉病斑、果実病斑を確認。6月中旬から、新梢先端～3枚目の葉に病斑散見。治療痕もあり。
- ◆ ももせん孔細菌病：開花期～春型枝病斑、5月中旬～葉病斑、5月下旬～果実病斑を確認。昨年よりも発生密度が高い
- ◆ スモモヒメシクイ：7/5～12 第一世代発生ピーク。一部、果実被害散見。